

令和3年度飯山市美術館運営協議会（第2回）

~~日時 令和4年2月15日（火）15:30～~~

~~場所 いいやま女性センター未来2階交流ルーム~~

1 開 会

2 あいさつ

- ・ 廣靖彦美術館運営協議会長
- ・ 松木教育長

※書面開催のためございません。

3 協議事項

- (1) 令和3年度事業について（報告）
- (2) 令和4年度事業計画（案）について
- (3) 令和5年度以降の企画展等について
- (4) その他

4 その他

- (1) 次回運営協議会開催について

※書面開催のためございません。

5 閉 会

○飯山市美術館運営協議会規則

平成9年3月21日教育委員会規則第3号

改正

平成18年2月20日教委規則第1号

平成20年3月24日教委規則第2号

平成27年3月31日教委規則第4号

飯山市美術館運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、飯山市伝統産業会館条例(昭和57年飯山市条例第22号)第19条に定める飯山市美術館運営協議会(以下「協議会」という。)の委員の定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

(定数)

第2条 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

(任命)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識者から教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長が会務を総理する。

3 会長が事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(協議会)

第6条 協議会は、美術館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対し意見を述べることができる。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成18年2月20日教委規則第1号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月24日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条の改正規定は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月31日教委規則第4号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

令和3年度飯山市美術館運営協議会委員 名簿

美術館運営協議会委員（敬称略）

	氏 名 等	備考（推薦団体等）
1	廣 靖彦（会長）	有識者
2	丸山 公人（会長職務代理）	飯山市芸術文化協会
3	吉越 隆師	飯山市芸術文化協会
4	千坂 経悦	飯山市高校美術科担当者
5	上海 一徳	飯山仏壇事業協同組合
6	西澤 直樹	飯山市校長会
7	伊達 信寿	社会教育委員
8	阿部 拓也	内山紙協同組合
9	小林 豊彦	公募委員

教育委員会関係者

1	教 育 長	松木 英文
2	文化振興部長（兼）文化交流課長	桑原 雅幸
3	美術館長	井端 伸介
4	会計年度任用職員	木村 友子
5	会計年度任用職員	小林 隆子

	事業名	内容・効果等	期間・会場等	入館者数等
常設展示	常設展示(前期)	飯山市出身あるいはゆかりの芸術家で、これまで企画展を開催した画家の作品を中心に展示。	R3.4.1～R3.7.24	入場者数:660人
	常設展示(展示替え)	美術館収蔵品60～70点を展示した。	R3.9.16	
	常設展示(後期)	作家名等:長谷川青澄(日本画)・宮澤鉄夫(日本画)・相原求一朗(油絵)・駒村久彌(油絵)・岩上隆静(水彩)・齋藤一郎(和紙作品)	R3.9.18～R4.3.31(予定)	入場者数:2891人 ※ギャラリー展含む
ギャラリー展	飯山仏壇を支えた仏師たち	平櫛田中と同格とも言われた、飯山出身の彫刻家瀧澤天友(1871-1909)の貴重な木彫作品を展示するとともに、善光寺の仁王門制作に携わった飯山仏壇の仏師たちを紹介した展覧会。	R3.7.31～R3.9.12 開館日数:38日 会場:2階ギャラリー	入場者数:609人 ※特別展含む
	伝統の技 工芸作家3人展	市の伝統産業である飯山仏壇の製作に携わる伝統工芸士3人(彫刻:森徳壽、蒔絵:藤澤一雄、彫金:三ツ井照雄)による作品展。 長野県全域において新型コロナウイルスの感染警戒レベル5となりR4年度以降に延期。	令和4年度に延期	
	佐藤武造没後50年イベント	令和4年は飯山市出身の画家佐藤武造の没後50年にあたる。そのプレイベントとして当館所蔵作品の中から新しく収蔵された作品をメインに代表的な漆画、絹画、水彩画、デッサン等を紹介。会期中に、数点展示替えを実施。 会期中の2日間(10/2・3)、「学びのエリア秋まつり(6館合同行事)」において「美術館クイズ答えは作品の中」を実施。	R3.9.18～R4.3.31 開館日数:162日 会場:ロビー及び2階ギャラリー	入場者数:2891人 ※秋まつりの無料入館者数748人を含む
企画展	正受老人三百年遠諱記念展	臨済宗中興の祖と称される白隠禅師を正しい悟りに導いた正受老人の三百年遠諱を記念し、主として正受庵から正受老人にゆかりのある資料を展示。 今回の展示では、正受庵のはじまりから正受老人と白隠禅師との出会い、また、明治期に廃寺の危機を乗り越えて再興された史実を物語る遺墨など約60点を5つのテーマにわけて紹介した。 会期中に関連イベントとして講演会(公民館事業)、ギャラリートークが行われた。	R3.7.31～R3.9.12 開館日数:38日 会場:ロビー及び展示室	入場者数:609人 ※ギャラリー展含む
美術教室等	ワークショップ うちわ作り 「内山紙でうちわを作ろう!」	郷土の和紙や土を使った造形教室を開催。 土から作った絵具を塗り、和紙に模様をつけて竹骨に貼り、うちわを制作した。	R3.8.5 会場:公民館103	参加者数:9名
	ワークショップ ランプシェード作り 「マイランプシェードをつくろう!」	(予定) 郷土の伝統工芸である内山紙を使ったオリジナルのランプシェードを作る。 (公民館春休み体験教室)	実施予定日: R4.3.18 会場:公民館103 募集人数:15名	参加者数:-----
施設整備等	火災報知器連動操作盤更新工事	既存の火災報知器連動操作盤の更新が必要となったため、更新工事を実施。	契約 R4.1.11	
	館内Wi-Fi化工事	(予定) 公民館のWi-Fi化に併せて施工する。	R4.2.1～ 年度内に完了予定	
その他	仏像彫刻作品2体展示及び感謝状贈呈	コロナ禍により延期されていた仏像彫刻作品2体の展示及び感謝状贈呈を行った。	R3.4.26 会場:2階ギャラリー	

令和4年度事業計画（案）

1 常設展示

内容： 飯山市出身あるいはゆかりの美術家及び企画展を開催した美術家の作品を中心に常設展示を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて60～70点を展示する。

期間：①令和4年4月1日（金）～令和4年7月3日（日）※約3か月
※4/16（土）・17（日）は第41回飯山市民芸術祭展示部門の会場として使用。
②令和4年11月18日（金）～令和5年3月31日（金）※約4ヶ月半

2 企画展開催事業

○『(仮称) 佐藤武造没後50年展』

内容： 令和4年は飯山市出身の画家佐藤武造の没後50年にあたる。当館所蔵作品の中から新しく収蔵された作品など、代表的な漆画、絹画、水彩画、デッサン等を中心に展示し、個人で所有されている作品についても出来る限り借用展示する。

期間：令和4年7月9日（土）～令和4年7月31日（水）

備考：市の広報誌やiネット放送を活用して、佐藤武造作品等の情報を収集し、幅広く展示作品を決定したいと考えている。

○『(仮称) 森田千晶展』

内容： 飯山市で開催された「和紙の仕事大賞コンペティション」において大賞（H18）と優秀賞（H17）を受賞した和紙作家・森田千晶（埼玉県出身在住）の作品展を開催。

期間：令和4年9月10日（土）～令和4年11月13日（日）

備考：当初、令和3年度の開催を予定していたが、作家本人から新型コロナウイルスの影響等により令和4年度開催に延期したいと申し出があった。令和元年8月に森田氏本人が美術館展示室の下見を行うなど準備を進めている。

3 ギャラリー展等

方針：市出身やゆかりの有無にこだわらず、市外の作家も積極的に紹介し、施設の有効活用・活性化を図る。

(1) 『(仮称) 伝統の技 工芸作家3人展』

内容： 市の伝統工芸である飯山仏壇の製作に携わる伝統工芸士3人（彫刻：森徳壽・蒔絵：藤澤一雄・彫金：三ツ井照雄）の作品展を開催する。

具体的な展示作品は、ペンダントやブローチなどのアクセサリ、スマホスタンド、一輪挿し、銘々皿、壁飾りなど、日常に使用可能な身近に感じられ

る作品を展示する。

期間： 企画展2つの開催があるため、令和5年の開催も視野に入れて検討する。

会場： 美術館ロビー

備考： 会期中に「彫刻」「蒔絵」「彫金」の体験教室（有料）を開催する。

(2) その他

登録社会教育団体から利用希望があれば、随時、検討を行う。

4 ワークショップ・美術教室等

方針： 特徴ある美術館づくりを目指して、郷土の伝統工芸である“和紙”と地元の土から作った絵の具を使った絵画制作等のワークショップを継続して取り組む。また、美術家等に協力を仰ぎ、美術を身近に感じ楽しむためのギャラリートークやワークショップを実施する。

○夏休み・春休み体験教室の美術・図工の講座を担当実施

市公民館主催の小中学生を対象とした夏休み・春休み体験教室において、美術・図工関連の企画立案と運営に関わる予定。

実施内容については、今後、検討していく。

5 五郷研修館の活用・県外在住作家との連携

美術館活動の活性化を目的として始めた活動で、過去に五郷分校の作家たちによる企画展も開催したが、現在は活発に制作活動が行われている状況にはない。

また、令和2年度以降はコロナ禍の影響により、使用実績は皆無である。

令和4年度は、コロナ禍の状況を見ながら可能であれば、現在、日本大学芸術学部教授の瀬島匠氏を招いて特別授業等の開催を検討したい。

研修館を使用している美術家：

○原田卓三（大阪府在住、東京芸術大学大学院修了）

○瀬島 匠（東京都在住、武蔵野美術大学卒、日本大学芸術学部教授）

○内田 寛（愛知県在住、名古屋芸術大学卒）

○星 晃（埼玉県生まれ 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒）

6 管理運営関係

(1) 開館スケジュールについて

◎臨時休館する日

4/15(金)・4/19(火)	春の展示替え ※4/16・17の二日間は飯山市民芸術祭
7/5(火)～7/8(金)	佐藤武造没後50年展開催に伴う展示替え ※調整中

9/1(木)～9/9(金)	武造展終了から森田千晶展開催に伴う展示替え ※調整中
11/15(火)～11/17(木)	森田千晶展終了に伴う展示替え ※調整中

7 その他

(1) 市民ギャラリーの有効活用

- ・市民ギャラリーの利用を広報飯山やi ネット（ケーブルテレビ）で呼びかける。
- ・市民ギャラリーとして使用している場所
 - ①公民館1階廊下の壁面 ②公民館階段の壁面 ③公民館2階ロビーの壁面
 - ④公民館側の図書館入口手前のガラスケース

(2) 広報活動について

- ・広報飯山、i ネット、防災無線放送を活用した美術館情報の発信等

令和5年度以降の企画展等（案）

令和5年度 (2023)	(準備中) 岩上隆静没後10年記念展	飯山市秋津地区出身の画家・岩上隆静(1930～2013)は北信濃の風景を精力的に描いた。 平成14年に企画展を開催。 作品数84点 平成26年にギャラリー展を開催 作品数44点
	(準備中) 写真家・星野秀樹写真展	福島県出身飯山市岡山地区在住の写真家・星野秀樹氏(1968～)の飯山市の自然の魅力を余すことなく捉えた写真の展覧会。2015年飯山市に移住。
令和6年度 (2024)	(候補) 長谷川青澄没後20年記念展	市美術館を代表する画家・長谷川青澄の没後20年の節目となる企画展を開催。詳細は今後検討。
令和7年度 (2025)	(候補) 検討中	

【美術館として企画展またはギャラリー展を検討している作家】

宮本純夫(1952～)	山ノ内町出身中野市在住の画家。 漂白剤を使用した独自の技法による絵画制作を継続している。
小林 宏(1968～)	飯山市木島地区出身山梨県在住、東京芸大美術学部日本画科卒業 植物を描いた日本画作品が多い。2017年と2019年はパリで個展開催。
山田一道()	中野市出身在住、国画会会員の洋画家。アクリル絵画。 具象的な様々なイメージを画面上に構成した作品。